
始良市新学校給食センター整備・運営事業
客観的評価

令和 7 年 1 月

始良市

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成 11 年法律第 117 号。以下「PFI 法」という。) 第 8 条第 1 項により、始良市新学校給食センター整備・運営事業(以下「本事業」という。)を実施する民間事業者を選定したので、PFI 法第 11 条により客観的評価の結果を次のとおり公表する。

令和 7 年 1 月 20 日

始良市長 湯元 敏浩

1 事業者選定の経緯等

(1) 事業者選定の経緯

日程	内容
令和 6 年 3 月 1 日	実施方針の策定の見通しの公表
令和 6 年 3 月 29 日	実施方針等の公表
令和 6 年 4 月 5 日	実施方針等に関する説明会及び配送校の見学会の開催
令和 6 年 4 月 18 日	第 1 回始良市新学校給食センターPFI 事業審査委員会
令和 6 年 6 月 10 日	特定事業の選定及び公表
令和 6 年 6 月 15 日	第 2 回始良市新学校給食センターPFI 事業審査委員会
令和 6 年 7 月 11 日	入札説明書等の公表
令和 6 年 7 月 22 日 ～24 日	入札説明書等に関する説明会及び配送校の見学会の開催
令和 6 年 9 月 17 日	資格審査に関する書類の提出期限
令和 6 年 11 月 15 日	提案審査に関する書類の提出期限
令和 6 年 12 月 12 日	第 3 回始良市新学校給食センターPFI 事業審査委員会
令和 6 年 12 月 25 日	第 4 回始良市新学校給食センターPFI 事業審査委員会 (ヒアリング審査)
令和 6 年 12 月 26 日	落札者の決定の公表

(2) 事業者選定方式

本事業を実施する事業者には、各業務を通じて、効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供を求めるものであり、その事業者は、幅広い能力及び経営ノウハウ等と事業実施における経済性を総合的に評価して選定する必要がある。したがって、選定に当たっては、入札価格と併せて、始良市（以下「本市」という。）の要求するサービス水準との適合性、維持管理及び運営業務における遂行能力や事業計画の妥当性、更に資金調達計画の確実性やリスク負担能力等を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用した。

(3) 事業者選定方法

事業者の選定は、応募者の参加資格の有無を審査する「資格審査」と、応募者の提案内容を審査する「提案審査」の 2 段階に分けて実施した。

なお、資格審査の結果は、提案審査における評価には反映させないこととした。

2 事業者選定の体制等

(1) 事業者選定の体制

総合評価一般競争入札による審査を実施するに当たり、専門的見地からの意見を聴く

ため、学識経験者等で構成する始良市新学校給食センターPFI 事業審査委員会（以下、「審査委員会」という。）を設置した。

審査委員会は、入札参加者から提出された入札書類（提案書）の審査を行い、最優秀提案を選定し、本市は、審査委員会により選定された最優秀提案を踏まえ、落札者を決定した。

(2) 審査委員会

審査委員会の構成は、以下のとおりである。

（敬称略）

役職	氏名	所属
委員長	二宮 秀興	国立大学法人 鹿児島大学 理工学研究科 教授
委員	林田 吉恵	国立大学法人 鹿児島大学 法文学部 教授
委員	有村 恵美	鹿児島県立短期大学 生活科学科 准教授
委員	溝脇 直規	公益財団法人 鹿児島県学校給食会 食品検査室 室長
委員	藤崎 久美子	始良市立蒲生学校給食センター 栄養教諭
委員	今別府 浩美	始良市総務部長
委員	北野 靖往	始良市教育部長

審査委員会の開催日程及び議事内容は、以下のとおりである。

審査委員会	開催日	主な議題
第1回	令和6年4月18日	- 委員長の選出及び委員長職務代理者の選出について - 当事業の概要について - 実施方針及び要求水準書（案）の概要について - 今後のスケジュールについて
第2回	令和6年6月15日	- 落札者決定基準における評価項目及び配点について - 提案審査の審査方法について - 今後のスケジュールについて
第3回	令和6年12月12日	- 提案審査に関する書類に対する事前確認事項について - 提案に対する仮評価について - ヒアリング審査における質問事項の整理について
第4回	令和6年12月25日	- 提案審査及びヒアリングの実施 - 最優秀提案の選定について

3 審査結果

(1) 資格審査

3グループから資格審査に関する書類の提出があり、事務局は、グループを構成する各企業が入札説明書に示した参加資格要件を満たしているか審査した。審査の結果、す

すべての企業が参加資格要件を満たしていたことを確認した。

なお、すべての審査に際しては、審査の公平性を確保するため、入札参加グループ名及び企業名等を伏せ、資格審査後に通知した「受付番号 467」「受付番号 468」「受付番号 469」をグループ名として審査を行った。

グループ名	受付番号
日本国民食グループ	467 グループ
ハーベストネクストグループ	468 グループ
東洋食品グループ	469 グループ

(2) 提案審査

ア 基礎項目審査

入札参加者の提案内容が、事業者選定基準「別紙 1 基礎審査項目の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足しているか事務局は審査を行い、すべてのグループが充足していることを確認した。

イ 技術評価点の算定（加点項目審査）

(7) 審査方法

基礎項目審査で適格とされた提案内容について、審査委員会において、審査項目ごとの配点を基に、以下に示す評価基準に応じた得点（加点）を付与する加点項目審査を行った。

評価	評価水準	点数化の方法
A	具体的かつ非常に優れた提案がなされている	配点×100%
B	優れた提案がなされている（A と C の中間程度）	配点× 75%
C	適切な提案がなされている	配点× 50%
D	具体的かつ適切な提案が少ない（C と E の中間程度）	配点× 25%
E	要求水準を満たすものの、懸念される点がある	配点× 0%

(4) 技術評価点の結果

審査項目	配点	467 グループ	468 グループ	469 グループ
I 事業計画全般に関する事項	70 点	53.2 点	53.5 点	46.9 点
II 設計業務に関する事項	140 点	109.6 点	109.8 点	99.1 点
III 建設・工事監理業務に関する事項	70 点	51.0 点	54.1 点	49.9 点
IV 開業準備業務に関する事項	15 点	11.8 点	11.8 点	11.8 点
V 維持管理業務に関する事項	70 点	48.1 点	53.5 点	51.3 点
VI 運営業務に関する事項	225 点	170.5 点	166.1 点	173.4 点
VII 入札参加者独自の提案に関する事項	110 点	93.5 点	102.4 点	55.2 点
合 計	700 点	537.5 点	551.2 点	487.6 点

※ 落札者決定基準に基づき、技術評価点は小数点以下第 2 位を四捨五入

ウ 価格評価点の算定方法

価格評価点は、入札書に記載された入札価格に対して、次式により算定した。

$$\text{価格評価点} = 300 \text{ 点} \times (\text{最低の入札価格} / \text{入札価格})$$

エ 価格評価結果

	467 グループ	468 グループ	469 グループ
入札価格	8,560,401,800 円	8,233,822,942 円	8,498,139,809 円
価格評価点	288.6 点	300.0 点	290.7 点

※ 落札者決定基準に基づき、価格評価点は小数点以下第2位を四捨五入

オ 総合評価点の算定方法

総合評価点は、技術評価点と価格評価点を合計した値とし、次式により算定した。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点 (最大 700 点)} + \text{価格評価点 (最大 300 点)}$$

カ 総合評価結果

合計点が最大となった受付番号 468 グループの提案を最優秀提案として選定した。

	配点	467 グループ	468 グループ	469 グループ
技術評価点	700 点	537.7 点	551.2 点	487.6 点
価格評価点	300 点	288.6 点	300.0 点	290.7 点
総合評価点	1,000 点	826.3 点	851.2 点	778.3 点
順 位		2 位	1 位	3 位

4 落札者の決定

本市は、審査委員会により選定された最優秀提案を踏まえ、ハーベストネクストグループ（468 グループ）を落札者として決定した。

グループ名	ハーベストネクストグループ
代表企業	ハーベストネクスト株式会社
構成企業	福永建設株式会社 株式会社九電工 霧島営業所 株式会社中西製作所 鹿児島営業所
協力企業	株式会社東条設計 株式会社カミゾノ電気 有限会社大洋水道

5 市の財政負担の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業を PFI 事業として実施する場合の市の財政負担額を算定した。その結果、次に示すとおり本市が自ら実施する場合と比較して、現在価値換算で約 9.7%削減されることとなった。

区 分	本市が自ら実施する場合	PFI 事業として実施する場合
財政負担額（現在価値）	9,802 百万円	8,847 百万円
指数	100.0	90.3

※取引に係る消費税及び地方消費税を含む。